

# Unified Communications Manager Express 7.x 以降に関する FAQ

## 内容

### [概要](#)

[最新バージョンの Cisco Unified CME の IOS 互換性マトリクスはどこで入手できますか](#)

[Cisco Unified CME のディレクトリの順序は変更できますか](#)

[iDivert キーは Cisco Unified CME でサポートされますか](#)

[Cisco Unified CME は "+" 番号ダイヤル パターンをサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME はダイレクト コール パークをサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME はコール モニタリング機能をサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME では個人アドレス帳を利用できますか](#)

[Cisco Unified CME はモビリティまたは SNR 機能をサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME 7.1 および 8.0 ではどのような拡張機能を使用できますか](#)

[どのバージョンの CME が新しい Cisco 8900 および 9900 シリーズの IP フォンをサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME 8.5 を使用してローカル短縮ダイヤル番号をいくつ設定できますか](#)

[ロシア語口ケールで IP フォンを使用する際、CME ローカル ディレクトリを空白で検索すると、XML 解析エラーが返されます。問題をトラブルシューティングするには、どうすればよいですか](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager Express ( Cisco Unified CME ) 7.x 以降のバージョンに関するよくある質問に回答しています。

ドキュメント表記の詳細は、[『シスコ テクニカル ティップスの表記法』](#)を参照してください。

**Q.最新のCisco Unified CMEバージョンのIOS互換性マトリクスはどこで入手できますか。**

A. [『Cisco Unified CME and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』](#)を参照してください。

Cisco Unified CME のサポート情報 ( 設計、設定、トラブルシューティング情報を含む ) を取得するには、「[Cisco Unified Communications Manager Express](#)」を参照してください。

**Q. Cisco Unified CMEのディレクトリの順序を変更できますか。**

A. いいえ、ディレクトリの順序を変更することはできません。最初の 3 つの通話履歴ディレクトリは、IP フォンに「ハードコード」されています。

## Q. iDivertキーはCisco Unified CMEでサポートされていますか。

A.現在、iDivertはCisco Unified Communications Managerでのみサポートされており、Cisco Unified CMEではサポートされていません。ただし、回避策として、ボイスメールへの直接転送を使用してみてください。E.164 オプションを使用してこの設定を実行できます。設定については、「[コーラーディレクトリを Unity Express メールボックスに転送する](#)」を参照してください。

Cisco Unified CME の iDivert 機能を実現するためのもう 1 つの次善策は、DND ソフトキーを使用する方法です。これは、すべての着信コールを、電話機に設定された各回線のコール転送用の宛先に転送します。たとえば、ボイスメールに転送するには、[DND] ソフトキーを押します。

注：コール転送の宛先が設定されていない場合は、[DND]ソフトキーを押すと呼出音が無効になります。無応答時転送が有効になっている場合、着信コール中に [DND] ソフトキーを押すと、そのコールが無応答時転送用の宛先に転送されます。コール自動転送がイネーブルになっていない場合、[サイレント (DND)] ソフトキーを押すと呼び出し音と視覚的なアラートはディセーブルになりますが、コール情報は電話機の画面に表示されます。詳細については、「[応答不可の設定](#)」を参照してください。

3 番目の次善策は、Cisco Unified CME 4.3 以降で使用できます。

次のステップを実行します。

1. [TrnsfVM] ソフトキーを押して、コールを保留します。
2. 内線番号を入力します。
3. [TrnsfVM] ソフトキーをもう一度押して、転送を確定します。

注：TrnsfVMソフトキーは、Cisco Unified IP Phone 7905、7912、または7921や、Cisco VG224またはCisco ATAに接続されたアナログ電話ではサポートされません。これらの電話機では、trnsfvm FAC がサポートされます。

## Q. Cisco Unified CMEは「+」番号ダイヤルパターンをサポートしていますか。

A.はい、Cisco Unified CMEはバージョン7以降の+番号ダイヤリングパターンをサポートします。

## Q. Cisco Unified CMEはダイレクトコールパークをサポートしていますか。

A.はい。Cisco Unified CMEでは、バージョン7.1以降のダイレクトコールパークがサポートされています。

## Q. Cisco Unified CMEはコールモニタリング機能をサポートしていますか。

A.はい。Cisco Unified CMEは、バージョン7.1以降のコールモニタリング機能をサポートしています。

## Q. Cisco Unified CMEでは個人アドレス帳が提供されますか。

A.はい。Cisco Unified CMEでは、バージョン8.x以降の個人アドレス帳が提供されます。

## Q. Cisco Unified CMEはモビリティまたはSNR機能をサポートしていますか。

A. Cisco Unified CMEは、バージョン7.1以降でモビリティまたはシングルナンバーリーチ (SNR)機能をサポートしています。Cisco Unified CMEでモビリティを設定するには、次の手順を実行します。

1. モビリティ機能を有効にし、ディレクトリ番号で SNR を設定します。
2. ephone テンプレートを作成し、この ephone テンプレートでモビリティ ソフトキー オプションを割り当てます。
3. ephone に新しく作成した ephone テンプレートを適用します。

**Q. Cisco Unified CME 7.1および8.0で利用可能な拡張機能は何ですか。**

A.リリース12.4(24)Tには、SNR、ウィスパインターコム、SIP回線側の機能拡張、CME/CUEユーザ名/パスワード同期、MLPP over PRI、拡張BLFモニタリング、SIP回線側DSTなど、高度なCisco Unified CME機能がCME間のSIPトランクを介したNDアップデート、およびビデオ

**Q.新しいCisco 8900および9900シリーズIP PhoneをサポートするCMEのバージョンはどれか？**

A. CME 8.5は、新しいCisco 8900および9900シリーズIP Phoneのサポートを提供し、CME 8.6は、Cisco IP Phoneのビデオテレフォニーのサポートや、複数のCisco IP Phoneのネイティブビデオ会議をサポート含などの強化コラボレーション機能をします。また、CME 8.6では、ユーザが iPhone または iPod Touch デバイスで仕事用の内線番号にアクセスできる向上したモビリティが提供されます。

**Q. Cisco Unified CME 8.5で設定できるローカルスピードダイヤル番号はいくつですか。**

A. Cisco Unified CME 8.5の場合、ローカルスピードダイヤルエントリは33個 (番号1 ~ 33) までです。ローカル短縮ダイヤルは speeddial.xml ファイルを使用します。

注：Cisco Unified CMEシステムでは、各電話機に最大33個のローカルスピードダイヤル番号 (コード1 ~ 33)、最大99個のシステムレベルのスピードダイヤル番号 (コード1 ~ 99)、またはその組み合わせを設定できます。同じスピードダイヤルコード (タグ) でローカルとシステムレベルの両方のスピードダイヤル番号をプログラムした場合は、ローカル番号が優先されます。通常、コード1 ~ 33はローカルの電話機ごとのスピードダイヤル番号用に確保し、コード34 ~ 99はシステムレベルのスピードダイヤル番号用に、競合しないようにします。

詳細については、「[短縮ダイヤル ボタンと短縮ダイヤル](#)」を参照してください。

**Q. CMEローカルディレクトリでブランク検索を行うと、ロシア語ロケールのIP PhoneでXML解析エラーが返されます。問題をトラブルシューティングするには、どうすればよいですか**

A.回避策として、英語ロケールを使用します。この問題は Cisco Bug ID [CSCtq80497 \(登録ユーザのみ\)](#) に記述されています。

**関連情報**

- [Cisco Unified Communications Manager Express システム アドミニストレータ ガイド](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)